

進めています!自己改革



私たちは、平成28年度から平成30年度までの3カ年、農家・組合員の豊かなくらしを支えるため、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの目標を掲げ、具体的な目標・計画を設定して、自己改革に取り組んでおり、平成29年度中の主な自己改革の取り組みと実績は、次のとおりです。

平成30年度は、私たちが取り組む自己改革の最終年度であるとともに、政府が設定した“農協改革集中推進期間(平成26年6月～平成31年5月)”の終了期限に向けた重要な年度となり、自己改革の目に見える結果と組合員から好評価を得る取り組みを重点的に進めてまいります。

今後も、私たちは、農業協同組合の使命である農業所得の向上や地域農業の振興、さらには、地域協同組合として「食や農」を通じた地域貢献活動に取り組んでいきます。

組合員と会い!

組合員と話し!

組合員の声を聴く!

私たちが取り組んでいる自己改革やJAの役割等について、しっかりと組合員に伝えご理解いただくため、平成30年1月から3月にかけて、職員が、組合員760名を対象に、組合員宅を個別に訪問するなどして説明し、あわせてJA全中が作成したアンケート調査を実施して組合員の方々の声をお聴きしました。

平成30年度についても、私たち役職員が様々な機会を利用し、自己改革の取り組み、JAの役割・総合事業、准組合員制度の意義・必要性等について説明するとともに、様々な意見・要望をお聴きします。

<JA全中が作成したアンケートの質問内容>

- ・ JAは地域農業やくらしにとって必要な存在だと感じになりますか。
- ・ 地域の農畜産物を食べることや、地域農業の体験等を通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思えますか。
- ・ JAの総合事業・営農指導事業・農畜産物販売事業・生産資材購買事業について、どのように感じになりますか。
- ・ JAは自己改革に取り組んでいますが、ご存じですか。
- ・ 准組合員のJA事業利用は、正組合員(農業者)にとっても必要だと思えますか。
- ・ 准組合員のJA事業の利用を制限されることについてどうお考えですか。





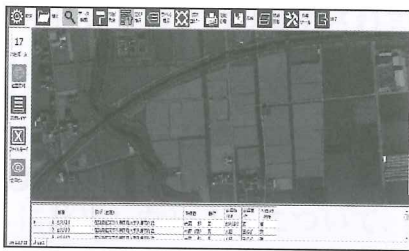
農業者の所得増大につながる取り組み

JAグループ佐賀の担い手に出向く活動の取り組み強化の一環として、出向いた先での提案力・指導力の強化、情報提供の迅速化を図るため、タブレット端末の導入に向けて検討を行ってきました。

その結果、平成30年5月に当JAも4台のタブレット端末を導入し、この端末を活用することにより、組合員に対して出向いた先での提案や指導が強化され、情報提供の迅速化も図られ、画像や動画を交えた分かりやすい説明・相談対応等が可能となります。



★ 想定される活用方法



【システムによる圃場管理】

- 生産者の圃場データの蓄積
- 作付の状況や土壌分析結果など圃場情報の見える化



【担い手への生産資材の説明等】

- 資材の在庫・価格照会機能や生産者毎の過去の供給実績照会機能(迅速な情報提供)
- 画像による病害虫等の診断(分かりやすい営農指導)
- 画像による農機、資材等のカタログの説明



だっこえびす祭り開催

～ 取り組み目的について ～

- 平成29年度は当JA創立70周年の節目の年にあたり、その創立の地でもある多布施支店の駐車場の一角に長年にわたり鎮座しておられた恵比須様を改めてクローズアップし、「地域活性化及び子育て世代応援」を目的として、イベントを地域のラジオ局(えびすFM)、佐賀市観光協会/えびすDEまちづくりネットワーク、そして子育て支援団体等と一緒に開催しました。

～ 実施内容について ～

- 多布施支店に鎮座しておられた恵比須様については、佐賀市観光協会/えびすDEまちづくりネットワークが管理している恵比須台帳には名称やご利益が不明となっていた為、子育て支援団体、えびすFM協力のもと、命名を「だっこえびす」、ご利益を「恵比須様にハグすると子供が健やかに育つ」として認定を頂きイベントを実施しました。

- イベント開催日 平成29年5月13日(土)



ハグして幸せ♡

～ イベント内容 ～

1. 恵比須像に魂をいれる式(伊勢神社)
2. 子育て支援団体による手作り品展示販売
3. 野菜・おにぎり等の販売(米菜クック)
4. 「だっこえびすにハグ」～先着50名に粗品プレゼント



地域の活性化につながる取り組み

みなさまに感謝の気持ちを込めて 創立70周年感謝祭開催

● 平成29年11月26日開催 ●

当JAは創立70周年を迎え、組合員・利用者及び地域の皆様へ日頃の感謝とJAへの理解を深めてもらい、地域で生産された農産物を知ってもらうため感謝祭を開催しました。



～ 内 容 ～

組合員や地域住民との触れ合いや農業への理解を深めてもらう事を目的としました。

- ① 女性部特製の豚汁の振る舞い
- ② 青壮年部によるちびっ子餅つき体験
- ③ 農産物の重量当てクイズ
- ④ チャリティーバザー
- ⑤ JAバンク・JA共済相談会



～ 主な利用者の声 ～

- いつも直売所で新鮮で美味しい野菜を買っています。安心・安全な農産物をありがとうございます。
- 日本の農業を支えて下さい。
- 窓口担当者の親切、丁寧、明るい笑顔の対応が嬉しくて気軽に足を運んでいます。

現在、当JAは、平成27年12月に開催したJA佐賀県大会で決議した『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』『地域の活性化』の3つの目標を掲げて「自己改革」に取り組んでいます。

「自己改革」とは、自主的な協同組合として、組合員の声に基づき、JA自らが事業や運営を点検し、自らが改革するという意味を込めて使っています。

これまでもJAグループは、様々な自己改革に取り組んできましたが、特に今回は、政府・農水省等によりJAグループの自己改革の進捗状況が注視されており、十分な結果が残せるように、当JAでは、その具体策を3カ年計画や各事業年度の事業計画に盛り込んで取り組んでいます。

今回の総会資料には、特にその取り組みの主だったものの内容及び進捗状況等を報告事項として記載していますので、ご一読ください。



佐賀市中央農業協同組合

本店 佐賀市栄町2-8 ☎(23)8555~8558
多布施支店 佐賀市多布施2丁目3-18 ☎(22)1534
神野支店 佐賀市神野西4丁目22-6 ☎(31)0707
指導経済部 佐賀市神野東4丁目3-10 ☎(30)9478
佐賀中央宅建 佐賀市神野東4丁目3-13 ☎(31)3261